

ミニカバの「ネムネム」が3月30日(月)に沖縄こどもの国へお引越し ニフレルで会えるのはあとわずか！ 特別イベント参加者を募集



(株)海遊館が大阪府吹田市「EXPOCITY」で運営する「生きているミュージアム『NIFREL(ニフレル)』」では、2026年3月30日(月)の閉館後、ミニカバの「ネムネム」(メス、2歳)が、沖縄こどもの国(沖縄県沖縄市胡屋)へ引越しすることが決まりました。同園では初のミニカバの飼育となり、絶滅危惧種であるミニカバの魅力をもっと多くの方に知っていただくとともに、将来の繁殖をめざします。

また、「ネムネム」の誕生以来、その成長を見守り応援して下さった皆様への感謝の気持ちを込めて、ミニカバ飼育体験イベントや、入館者へのステッカープレゼントなどの特別企画を実施します。イベントの募集要項などの詳細は、別紙にてお知らせいたします。

《いってらっしゃい！ネムネム 特別企画》

1. ミニカバ飼育体験イベント

【開催日時】 2026年3月 28日(土)、29日(日) 両日とも9:10~10:00

2. 担当キュレーターによる最後のご挨拶

【開催日時】 2026年3月30日(月) 15:30頃(「ネムネム」展示終了時刻)

担当キュレーターが「ネムネム」への想いを展示場でお話します。

当日の様子はニフレル公式Instagramにてライブ配信予定。

3. オリジナルステッカーを入館者全員にプレゼント

【実施期間】 2026年3月28日(土)、29日(日)、30日(月)

【配布場所】 ニフレル入口改札 ※なくなり次第終了



ステッカー(イメージ)

【上記①・②のイベントの様子を取材・撮影いただけます】

撮影を希望される方は、3月27日(金)17:30までに、下記担当へご連絡ください。

(株)海遊館ニフレル事業部 PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

※本資料の提供先:大阪市政記者クラブ、及び弊社プレスリリース提供希望のメディア関係各社

別紙

≪「ミニカバ飼育体験イベント」募集要項≫

ミニカバ担当キュレーターの開館前の作業を体験できるイベントです。ミニカバ展示水槽内で、陸場の掃除や餌の設置などをお手伝いいただくほか、開館前にバックヤードにいるミニカバの様子もご覧いただけます。その後、「ネムネム」の展示場への登場と、餌への反応や行動をキュレーターと一緒に観察する特別イベントです。

【開催日時】2026年3月28日(土)、29日(日) 両日とも 9:10~10:00

【人数】各日5組 ※展示場に入れる方は1組につき1名のみ(お子様にはお付き添い可能)

【対象】3月28日(土) ニフレル年間パスポート会員様限定
3月29日(日) どなたでもご参加いただけます
両日とも小学生以上推奨(小・中学生のお子様には保護者の方のお付き添いが必要)

【参加費】無料 ※ニフレル入館料が別途必要です

【応募方法】下記①②③を明記のうえ、専用アドレスにお送りください。

専用アドレス: nifrel.event2@nifrel.jp

- ① 参加者全員の氏名(ふりがな)、年齢
- ② 参加希望日
- ③ 当日連絡のつく携帯電話番号

※募集にあたり収集した個人情報は、抽選およびメールの返信など、本イベントに関する目的のみに使用します。

【応募締切】2026年3月15日(日)まで着信有効

【当選発表】2026年3月17日(火)までに、当選者のみにメールにてご連絡します。

【お問合せ】0570-022060(ナビダイヤル)

●担当キュレーターのコメント

2023年、様々な不安やハプニングの中、無事に生まれて来てくれた日のことは今でも鮮明に覚えています。マイペースで慎重な性格が、キュレーターだけでなく多くの人々を魅了してくれたネムネム。生まれてすぐは8kgもなかった小さな体は今では200kgを超え、たくましい姿になりました。ネムネムと過ごした約2年半という長いようであつという間だった期間、彼女だけでなく私たちキュレーターも大いに成長できたと感じています。今は、沖縄こどもの国の飼育員さんと情報交換をしながら、ネムネムのトレーニングや給餌を一緒に行うなどし、準備を進めています。新しい地でもネムネムが元気に過ごしてくれることを心から祈っています。



《ミニカバ「ネムネム」について》

誕生日：2023年8月17日（ニフレル生まれ）

性別：メス

両親：父親：「モトモト」（12歳。2013年7月9日にチリのブイン動物園で誕生。

現在は恩賜上野動物園）

母親：「フルフル」（13歳。2012年12月17日にシンガポール動物園で誕生）

体重：201kg（2026年2月12日測定）

愛称：8月17日の誕生花「ネムノキ」と、赤ちゃんの頃のぐっすりとおねむる姿から名づけられ、一般公募の中から決定しました。よく寝て健やかに育てほしいという想いが込められています。

《「ネムネム」の展示時間について》

現在、母「フルフル」、子「ネムネム」のどちらか1頭を交互に展示していますが、日々の生活環境に変化をつけるため、決まった展示時間を設けておりません。展示個体は、ミニカバ水槽前のパネルにてご確認いただけます。尚、最終日の3月30日(月)は、「ネムネム」は9:30～16:00に展示予定です。

《ミニカバについて》

IUCN(国際自然保護連合)によると、ミニカバは西アフリカの限られた地域に、わずか2,000～2,499頭のみ生息し、絶滅危惧種に分類されています。また、ワシントン条約の付属書Ⅱに掲載され世界的に保護されています。現在国内で飼育しているのは、6園館16頭です。

《ニフレルで販売中のミニカバ親子グッズ》

ニフレルミュージアムショップ「NIFREL×NIFREL」では、大人気の「おねむクッション」をはじめ、ミニカバ親子の愛らしい様子が描かれた巾着やマグカップなど、オリジナルの商品を取り揃えています。「ネムネム」の誕生や成長の思い出を身近に感じられるアイテムです。ミュージアムショップはニフレルへの入館がなくてもご利用いただけます。



おねむクッション S (1,900円)
おねむクッション M (2,900円)



キンチャク M (660円)



エコマグカップ (900円)

生きているミュージアム NIFREL
PRESS RELEASE

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

- 【名 称】 NIFREL(ニフレル)(館長:土井 啓行)
- 【運営会社】 株式会社海遊館(大阪市港区、社長:濱元 博之)
- 【所在地】 吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内
- 【営業時間】 平 日 10:00~18:00
土・日・祝 季節により変動
※いずれも最終入館は閉館の1時間前
※状況により変更する場合があります
- 【休 館 日】 年中無休
※年に2日間、設備点検のための臨時休館あり
- 【施設内容】 展示ゾーン(いろにふれる、なまえにふれる(期間限定ポップアップ展示)、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8ゾーン)
ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)
ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)
- 【交 通】 大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
- 【駐 車 場】 約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)



(以 上)